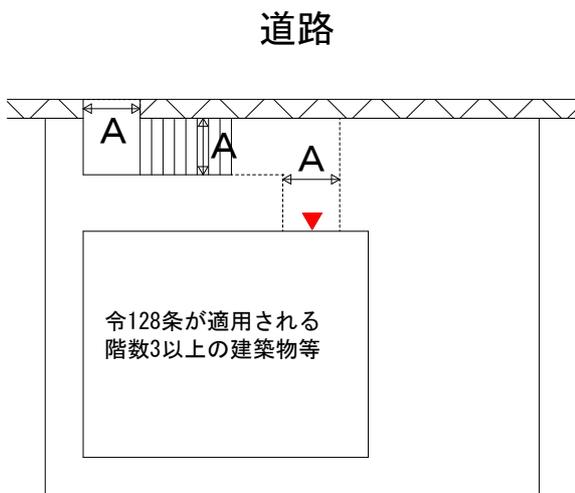


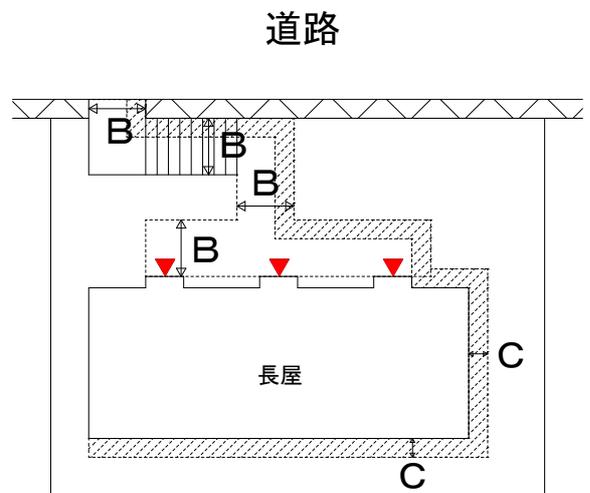
高低差のある敷地内の通路の幅員について

建築基準法施行令（以下、令）第128条の敷地内の通路、東京都建築安全条例（以下、安全条例とする）第5条の敷地内の通路、及び安全条例第17条、第19条の敷地内の通路については、原則高低差を生じないものとする。ただし、敷地の特性上やむを得ず段差が生じてしまう場合については、以下のように取扱う。
 なお、安全条例21条及び73条で準用される通路についても同様とする。

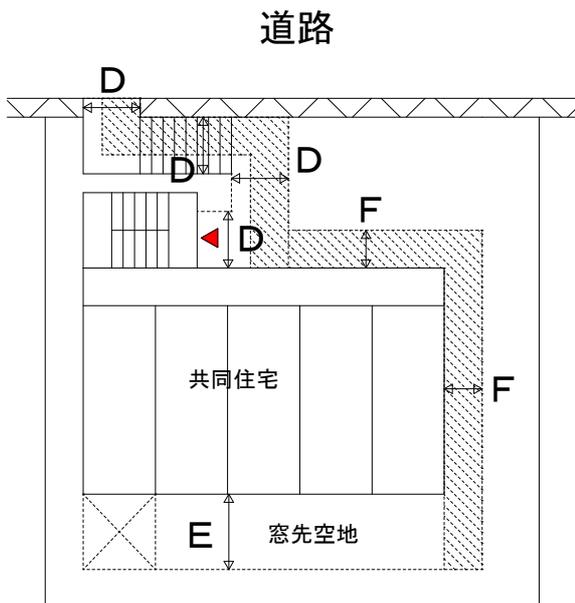
例 1



例 2



例 3



幅員 A…1.5m以上
 （令128条）※階数3以下で延べ面積
 200㎡未満の建築物は90cm以上

幅員 B
 通路長さ35m以下…2m又は3m以上
 通路長さ35m超 …4m以上
 （安全条例5条1項）

幅員 C…50cm以上
 （安全条例5条2項）

幅員 D
 通路長さ20m以下…1.5m、2m又は3m以上
 通路長さ20m超～35m以下…4m以上
 通路長さ35m超…6m以上
 （安全条例17条）

幅員 E…1.5m、2m、3m又は4m以上
 （安全条例19条1項）

幅員 F…1.5m又は2m以上
 （安全条例19条2項）

凡例
 ▲ 主要な出入口

※幅員については有効幅員とする。